



公益社団法人東京都障害者スポーツ協会ホームページ内で11月1日に公開された『Supporting Practices for Para-Sports 企業×障害者スポーツ競技団体等による障害者スポーツ振興の取組事例集』で取組事例が紹介されました

首都圏の私鉄各社の鉄道車両整備と点検を行う堀江車輛電装株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:堀江泰、03-5213-4728、以下堀江車輛電装)は、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会(本部:東京都新宿区)のホームページ内で11月1日に公開された『Supporting Practices for Para-Sports 企業×障害者スポーツ競技団体等による障害者スポーツ振興の取組事例集』で、障がい者支援事業を行うことになった背景や、今後の展開を含めた取組事例が紹介されました。

『Supporting Practices for Para-Sports 企業×障害者スポーツ競技団体等による障害者スポーツ振興の取組事例集』は、障害者スポーツの振興をしたいという企業等と競技団体が連携して行っている取組を公益社団法人東京都障害者スポーツ協会がまとめたものです。公益社団法人東京都障害者スポーツ協会が実施する障害者スポーツコンシェルジュ事業(※)を通してマッチングに至った事例や、企業が独自に行っている先進的な事例など多様なアプローチで障害者スポーツを支援する熱意ある取り組みを紹介しています。取組事例集は、14ページ構成で、堀江車輛電装を含めて10社の取り組みを写真を交えて読みやすく紹介しています。どなたでも閲覧できるようになっています。URLは次のとおりです。

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会ホームページ 取組事例集掲載ページURL
<http://tsad-portal.com/tsad/topics/8386>

・記載ページからは、堀江車輛の事業紹介動画も見る事ができます。

＜堀江車輛電装の事例ページより一部を抜粋＞

「知的障がい者サッカー日本代表チームの支援をしていく中で、選手たちの雇用状況に課題を感じたことから、2015年に障がい者支援事業(トライアングル)を立ち上げる。就職を希望している障害者への職業紹介サービスや企業向けの障害者雇用コンサルティング、大学や行政、企業に障害者理解を促す目的として障害者スポーツサービスを展開している。」

堀江車輛電装では、「幅広い技術を展開し鉄道業界の発展に貢献する」を経営理念とし、法令の遵守に加え高い技術を通して、地域社会の発展に貢献することを目指しています。新たな挑戦として、従業員およびその家族のみならず、地域社会のすべての人々の平等で適正な暮らしを創造するために、障がい者への総合支援(就労・生活・余暇)事業(障がい者支援事業トライアングル <http://h-tryangle.jp/>)を展開しています。社会で継続的に生活していくことを強く願う障がい者と障がい者の支援を実施する支援者と、障がい者を積極的に雇用しようとする企業の3者を結ぶ活動を障がい者支援事業の柱としています。スポーツという馴染みやすい方法で障がい理解を促すことで、障がい者に対する企業の感度を高めていくことを目指します。

※障害者スポーツコンシェルジュ事業は、障害者スポーツの支援に関心のある企業・団体等の相談に乗り、必要な情報の提供や支援を必要としている競技団体等との連携に向けた調整を行う事業です。

【会社概要】

堀江車輛電装株式会社

■本社 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-3-2 大橋ビル5階 電話 03-5213-4728 ファックス 03-5213-4729

■日高作業所 〒350-1253 埼玉県日高市台462-1 西武鉄道株式会社 武蔵丘車両検修場内

■横浜作業所 〒227-8540 神奈川県横浜市青葉区恩田町704東急テクノシステム株式会社 長津田工場内

設立 1968年6月18日 資本金 1,000万円 代表取締役 堀江 泰

ウェブサイト <http://horie-sharyo.co.jp/>

事業概要 鉄道車両の整備・改造・点検、特定労働者派遣事業、有料職業紹介事業、ビルメンテナンス事業



該当ページ



表紙